

主催：公益財団法人兵庫県高等学校教育振興会

協力：甲南大学

# チャレンジ留学交流会実施報告

*2018 International Exchange Meeting at Konan University*

暖かい春の陽光が差し込むなか、県内公私立の高校生69名が、甲南大学の留学生14名と国際交流を行いました。甲南大学国際交流センターの全面的な協力を得て、2015年9月に完成したグローバルゾーン・ポルト（Global Zone Porte）で開催しました。Porteというのはフランス語で扉という意味で、この扉を開いて世界に飛び出して活躍してほしいという願いが込められているそうです。

この交流会の目的は、近年急速に進展するグローバル社会を生き抜くための情報発信力やプレゼンテーション能力、そしてその能力の裏付けとなる論理的思考力の育成です。



〈甲南大学ホームページ〉 <http://www.konan-u.ac.jp/>



## 日程

- |           |                        |                              |
|-----------|------------------------|------------------------------|
| (1) 10:00 | Opening Ceremony       |                              |
| (2) 10:20 | Activity I             | (Ice-break)                  |
| (3) 10:35 | Workshop I             | (Self-introduction)          |
| (4) 11:45 | Workshop II            | (Critical Thinking Practice) |
| (5) 12:35 | Activity II            | (Coffee Break)               |
| (6) 13:05 | Closing Ceremony       |                              |
| 終了後       | KONAN INFINITY COMMONS | 見学会                          |



## Activity I (Ice-break)

1年間拘束されることになった無人島へ携行するアイテムをひとつ選び、その理由を述べ、聞き手を納得させるアイス・ブレイクゲームを行いました。

各人が意見を聞きながら、人には多様な考えがあることを知りました。初対面の留学生と参加者が、グループ内で打ち解けるきっかけとして、和やかな雰囲気づくりを行いました。

この活動の目的は、筋道を立てて物事を考え相手に伝える力、すなわち情報発信力や論理的思考力の育成です。日本語とは違う〈結論⇒理由〉という情報の伝達方法を学びました。参加者には事前課題として準備の時間も取っていたので、初対面同士でも終始和やかな雰囲気での次のワークショップへとつながりました。



## Workshop I (Self-introduction)

コミュニケーションの基本の基本である自己紹介をテーマに、ワークショップを行いました。留学生はそれぞれの母国や故郷、自分自身について、今や若者の必須アイテムとなったスマートフォンを用いてプレゼンテーションを行い、参加者は留学生の国の文化や生活を理解しました。また、参加者はあらかじめ準備してきた、自分の大切なものとその理由を含む自己紹介を20分間のローテーションで3回行いました。

アイス・ブレイクゲームで和やかになったグループで、留学生と参加者が自己紹介を行うことにより、相互理解を深めました。世界にはいろいろな国や生活習慣があり、人それぞれに大切にしているアイテムが違うという多様性にも気づくことができました。

自分自身のことを相手に伝える、そして相手の情報を的確に理解することを目的とし、高校生にとっては身近な自己紹介をテーマに、情報発信力を育成しました。20分間のローテーションで3回行うことで、段階的に情報量を増やしていき、自信をもって伝えることができるようになりました。

留学生の皆さんは、時間をかけて興味深い映像資料を準備し、視覚や聴覚に訴えながらのプレゼンテーションのおかげで、グループ内の仲間意識や絆がさらに深まりました。



## Workshop II (Critical Thinking Practice)

Facebook の書き込みやBBCの放送原稿を読んで、Suspended Coffee (保留コーヒー) による寄付行為の実態を知り、それが生活困窮者を救う善意となるのか否か。高校生の皆さんに問題を提起することにより、論理的思考力を育てるきっかけにしたいと考えました。

このワークショップで、情報を正しく読み取り、自分の意見を英語で正しく相手に伝える方法を学びました。日本語とは違う〈結論⇒理由〉という英語の表現方法で、相手を説得し、納得させる力を身に付ける一助になれば幸いです。





## Activity II (Coffee Break)

半日ですが、縁があって出会った留学生と高校生が、お互いの取り組みに敬意を表し、飲み物を片手にコーヒブレイク（歓談）しました。

留学生が日本の高校生を理解する機会となり、また、異なる高校の生徒たちが交流する場となりました。学校だけが学習する場ではなく、世の中には探せば、いくらでも学習の場があることがわかってもらえれば幸いです。たった数時間であっても、初めて知り合い、共に同じイベントに取り組んだ仲間と日常の会話を大いに楽しみ、あちらこちら歓声が聞こえました。

朝からの緊張感と集中力がピークに達していた留学生も参加者も、ひょっとするとこの時間が一番待ち遠しかったのかもしれませんが。まるで昔からの友達のように、国や学校が違ってても様々な話題に花を咲かせていました。

### 【アンケート結果から】

\*興味を持てた内容について（複数回答可）

	Activity I	Workshop I	Workshop II	Coffee Break
1年	15	22	22	18
2年	15	17	14	18
全体	30	39	36	36





## 「たくさんの人に出会えて良かった！」

～チャレンジ留学交流会に参加して（アンケートの感想より）～

### 【1年生】38名

- ・英語で会話し、意見を交換したり、付け加えたり、難しくはあった。しかし、日本語なしで、文法があやふやでも伝えようと頑張れたし、伝わった時には嬉しく感じた。感じたことを忘れずに、これからも、英語や他の言語に関わりながら生きていきたい。あらためて、英語をちゃんと勉強したいと思った。
- ・すごく有意義な時間でした。自分の英語のレベル、コミュニケーション力、話し方、発音等々、まだまだ足りないところが多いと感じましたが、その分学ぶことが多くあって、またこのような機会があれば、もっと話してみたいと思いました。
- ・本当に楽しかったです。こんなに英語について学べ、思いや考えを英語で伝えた1日は初めてでした。
- ・全て英語で会話ということで、いろいろなことについて、頭で英語を考えて話す良い経験になりました。
- ・留学に興味をもっているたくさんの人に出会えて良かった。
- ・英語を理解したりするのは難しかったけれど、みんなと話したりするのがすごく楽しかったです。
- ・思っていたよりも会話を続けることができず、難しかったです。ただ、とても楽しめたし、貴重な経験でした。
- ・普段、海外の人と話すことが少ないので、こういった機会に英語で会話できて良かったです。もっと英語が話せなければ、うまく会話が進まないことがよくわかったので、いい経験になりました。
- ・つたない英語でも親切に話を聞いていただける方ばかりで、とても良かったです。また機会があれば参加したいです。
- ・とても楽しく参加させていただきました。たくさん自分から話せる機会があったので、楽しかったです。保留コーヒーの進め方が少し難しかったです。
- ・日々、学校のALTの先生と話すことが多く、緊張もあるけれど、少し年齢が高い人との交流で、どんどんためらわずに、自分から話せるようになっていたことがとても嬉しかったです。
- ・とても勉強になりました。会話が全て英語だったこともあり、難しいと感じることもありましたが、周りの雰囲気がとてもよくて、すごく楽しかったです。
- ・外国の方々とお話する機会はなかなかないので、良い経験になりました。外国の文化なども詳しく知ることができて良かったです。また参加したいです。ありがとうございました。

## 【2年生（3年生）】31名

- ・様々な人の考え方や、日本に対するイメージを知ることができたので、とても楽しかったです。人によっては、これが進路決定のきっかけになるかもしれないので、夏休みに開催していただけたら、なお、ありがたいです。
- ・周りの高校生が同じ高校生とは思えないくらいレベルが高かった。
- ・とても有意義な時間が過ごせ、良い経験ができました。こんな機会がもっと増えたら良いなと思います。
- ・楽しかった。どのくらいの頻度で開催されているのかわからないけれど、毎回参加したいと思いました。
- ・貴重な体験をさせてもらいました。また、自分のコミュニケーション能力がとても向上したと思います。今回はとても良い経験になりました。
- ・わからないことも多くあり、うまくは話せなかったけれど、とても素敵な交流会でした。いろいろなことを知れたし、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・生の英語に触れることができ、とても刺激が強かったです。自分の英語の甘さを痛感しました。
- ・留学生と英語で話せることができ、楽しかったです。もう少し内容が簡単だったら、もっと意見を交換できたと思いました。
- ・とても楽しかったです。留学生の方々、日本に対する観点も持ってらっしゃるので、比較を踏まえて、とても貴重な意見が聞けました。とても良い経験をくださって、ありがとうございました。
- ・普段、話せないような話をしたり、いろいろな人と関わったりして、勉強になりました。上手く伝えられるようになりたいと思いました。

## *Message from Hyogo Student Services Organization*

今回で3回目の開催となる交流会も、甲南大学の留学生、甲南大生の協力のおかげで、成功裏に終えることができました。また、企画から運営に至るまで、細部にわたり親身にアドバイスをしていただいた国際交流センターのスタッフの皆様には、心より感謝を申し上げます。

試験終了直後にもかかわらず、エネルギーに貴重な時間を割いてくださった14名の留学生の皆さん、ニューヨークでの留学経験を生かして、MCとして、常に参加者のモチベーションを鼓舞してくださった甲南大生は、参加者にとってロールモデル（role model）となったに違いありません。

多くの人々の支えで、県内公私立30校から参加してくれた69名の高校生の皆さんにとって、充実した時間だったと確信しています。当会では、今後も引き続き県下高校生の留学の機運を醸成する事業を促進していきたいと考えています。

*Thank you very much for your cooperation!*